

熊本大学文学部附属
永青文庫研究センター

年 報

第7号

2016

熊本大学文学部附属永青文庫研究センター

はじめに

永青文庫研究センター発足7年目にあたる2015年度は、悲願であった『熊本大学寄託永青文庫資料総目録』の完成をみる年となった。

2009年の作業開始以来、センターのスタッフとして、あるいは集中調査のメンバーとして、じつに多くの方々に調査に参加していただいた。6年半にわたった調査の過程では、多くのアクシデントに出くわしたし、作業の困難さや組織運営の負担から泣き言が口をついたこともあった。調査参加者の長期に及ぶ力の結集がなければ、57,000点にも達する資料目録は完成させることができなかつた。調査参加者各位に、この場をかりて深くお礼申し上げる。

私たちの作業の日々を支えた思いは、永青文庫の歴史資料や書籍の隅々にまで光をあて、その存在と価値をあらゆる人々に、未来の研究者や歴史を学ぶ志を持った多くの市民に伝えたい、という意志であった。印刷物としての『総目録』は、部数も限られている。私たちの意志を実現するために、センターでは目録データの検索機能付き Web 公開を構想している。それこそ、全世界への公開となる。『総目録』の刊行・公表から時を置かずして、私たちは Web 公開のためのデータ修正作業に着手していることを報告しておきたい。

本年度の研究活動で特筆されるのは、2015年2月に吉川弘文館から出版した稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会—熊本藩政の成立・改革・展開—』の書評会を開催したことである。二人の書評者の報告内容を本年報に収録した。

第31回を迎えた熊本大学附属図書館貴重資料展は、2015年に寄贈された「道家家文書」の展覧会として開催した。「道家家文書」は、旧熊本藩士道家家に伝来した226点に及ぶ文書群である。道家家は熊本藩細川家の重臣であり、細川家豊前時代に道家帯刀が忠興に仕官し、その後、代々幕末まで仕えた。その内容は、細川忠興や忠利の発給文書、道家家の知行関係文書、明治維新後に権大参事に任じられた道家之山関係文書が、主なものとなる。近世初期と幕末・維新时期とにわたって、質量ともに傑出した旧家臣家文書である。その枢要部分を、寄贈直後の時期に、展覧会を通じて紹介できたことは大きな収穫であった。

なお、本年報には後藤典子「細川家文書に含まれる浅野内匠頭関係史料の再検討」を収録した。『総目録』の作成やセンターの研究活動を社会へ還元する活動の過程で得られた新知見をまとめた論稿である。ご味読いただきたい。

2016年2月27日

熊本大学文学部附属永青文庫研究センター長
稲葉 継陽

目 次

はじめに	1
1. 年間活動記録	4
2. 年間活動報告	8
(1) 研究活動	8
(2) 展覧会・講演会活動	9
(3) その他	10
3. 稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会』書評報告	11
報告1：書評者 久留島 浩	12
報告2：書評者 岸本 覚	27
4. センター教員の年間活動	38
5. 研究ノート	
細川家文書に含まれる浅野内匠頭関係史料の再検討 後藤 典子	41

1. 年間活動記録

日付	活動内容	担当・打合せ先等
平成27年4月1日	スタッフミーティング	センタースタッフ
4月15日	スタッフミーティング	センタースタッフ
4月29日	表千家熊本青年部総会 講演会	稲葉
4月30日	泰勝寺調査	山田 (県美)・稲葉・後藤
5月1日	静岡大学今村氏来訪・打合せ	稲葉・今村 (静岡大)
5月7日	センター運営会議	センタースタッフ・今福 (総務) 原 (総務)・山尾 (附属図書館)
5月10日	安徽大学卞利教授来訪・資料調査 (~14日)	稲葉・伊藤・卞利 (安徽大)
5月11日	スタッフミーティング	センタースタッフ
5月12日	卞利教授貴重書庫見学・打合せ	稲葉・後藤・卞利 (安徽大)
5月23日	日本テレビ取材	稲葉・後藤
5月25日	肥後の里山ギャラリー開館式典参加	稲葉
5月29日	熊大拠点形成研究メンバーとの打合せ	拠点形成研究メンバー
6月1日	熊大政創研佐藤氏来訪・打合せ	稲葉・佐藤 (政創研)
6月10日	日テレケーブルTV取材	稲葉
	肥後銀行財団吉津氏来訪・打合せ	稲葉・吉津 (肥後銀行財団)
6月22日	熊本県伝統工芸館坂本氏来訪・文書調査	稲葉・竹島・坂本 (県伝統工芸館)
6月24日	NHK 知恵泉撮影打合せ	稲葉・後藤・三田市 (NHK 熊本)
	肥後の里山ギャラリー宮原氏来訪・打合せ	稲葉・宮原 (里山ギャラリー)
6月25日	解明! 片岡愛之助の歴史捜査「宮本武蔵最強伝説に科学で迫る!」(BS日テレ)放送	
6月29日	NHK 知恵泉撮影・取材	稲葉・後藤 (文書調査協力)・三田市 (NHK 熊本)
6月30日	熊本県立美術館山田氏来訪・打合せ	稲葉・山田 (県美)
7月3日	熊本市文化振興課課長来訪・打合せ	稲葉
7月4日	肥後の里山ギャラリー講演	稲葉
7月9日	熊本市文化振興課課長来訪・打合せ	稲葉
7月10日	財務ユニット担当者来訪・講演打合せ	稲葉
	熊本県立美術館山田氏・有木氏来訪・打合せ	稲葉・山田・有木 (県美)
7月13日	熊本日日新聞文化部記者来訪・取材	稲葉・飛松 (熊日)
7月15日	天草市文化課職員来訪・打合せ	稲葉
7月27日	熊本日日新聞文化部記者来訪・取材	稲葉・飛松 (熊日)
7月29日	読売広告社より担当者来訪・取材	稲葉

日付	活動内容	担当・打合せ先等
8月4日	金春流中村家文書調査	稲葉・後藤
8月7日	熊本県庁文化課松永氏・溝辺氏と打合せ	稲葉・松永・溝辺 (県庁)
8月10日	熊本日日新聞高峰氏来訪・打合せ	稲葉・高峰 (熊日)
8月12日	熊本日日新聞文化部記者来訪・打合せ	稲葉・飛松 (熊日)
8月12日	政創研佐藤氏来訪・打合せ	稲葉・佐藤 (政創研)
8月17日	熊本日日新聞高峰氏来訪・打合せ	稲葉・高峰 (熊日)
8月19日	静岡大学今村氏来訪・打合せ	稲葉・今村 (静岡大)
8月20日	RKK 取材・テレビ出演	稲葉・後藤
8月27日	舒文堂にて資料調査	稲葉・後藤
8月29日	肥後の里山ギャラリー講演	稲葉
9月4日	熊本県知事蒲島氏、貴重書庫訪問	稲葉・後藤
9月16日	熊本県文化財保護協会 文化財研修会講演 (於西原村)	稲葉
9月22日	先人たちの底力 知恵泉「組織での生き残り方 外様大名・細川親子の情報活用術」(NHKEテレ)放送	
9月25日	日経新聞記者来訪・取材	稲葉
10月4日	知のフロンティア講座「織田信長研究の最前線—信長の『天下』をめぐって—」講演会	稲葉
10月6日	中村家訪問、中村家文書撮影	後藤 (文書調査協力)・藤本
10月18日	第27回熊本地名研究会シンポジウム「宇土半島の地名と風土」報告	稲葉
10月19日	九州地区国立学校会計事務研修にて講演	稲葉
10月31日	「日本近世の領国地域社会—熊本藩政の成立・改革・展開—」書評会開催	稲葉・久留島 (歴民博)・岸本 (鳥取大)・今村 (静岡大)・小関 (千葉大)・高槻 (神戸大)・白石 (宮内庁)
	ホームカミングデー・キャンパスツアーA「細川家臣・道家家の幕藩初期と明治維新」開催	後藤
11月1日	第31回貴重資料展「細川家臣・道家家の幕藩初期と明治維新」開催 (~3日)	来場者: 352名
	第10回永青文庫セミナー「道家家三代と天草・島原一揆」<肥後の維新>の主柱となった道家之山」開催	熊本大学附属図書館1F 稲葉・三澤 参加者: 92名
11月12日	西南学院大学宮崎克則氏来熊・打合せ	稲葉・安高・宮崎 (西南大)
11月17日	熊本市熊本城調査研究センター木下氏来訪・打合せ	稲葉・木下 (熊本市)
11月18日	熊本経済記者来訪・取材	稲葉

日付	活動内容	担当・打合せ先等
11月20日	「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
11月25日	熊日生涯プラザにて講演	稲葉
12月4日	「永青文庫資料総目録 文学・文芸・故実・芸能編 絵図・地図・指図編 歴史資料補遺編」納品	
12月5日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
12月7日	永青文庫常設展示基金運営委員会(於県庁)	稲葉
	菊池市教育委員会阿南氏来訪・打合せ	稲葉・阿南 (菊池市)
	熊本経済取材・撮影	稲葉
12月9日	永青文庫総目録完成を原田学長に報告	稲葉・後藤
12月12日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
12月16日	永青文庫総目録、完成発表記者会見(於県庁)	稲葉・後藤
12月18日	熊本県立美術館訪問・目録手交	稲葉・後藤
12月20日	シンポジウム「アルプスからのインターローカル・ヒストリー」報告(於甲南大学)	稲葉
12月22日	永青文庫理事吉丸氏訪問・目録手交	稲葉・後藤・吉丸 (永青文庫)
12月25日	「ブラタモリ」(NHK) 取材・打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
	朝日新聞記者来訪・取材	稲葉
12月28日	静岡大学今村氏来訪・打合せ	稲葉・今村 (静岡大)
平成28年1月6日	「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
1月20日	東京大学史料編纂所山口氏・林氏、資料調査のため来訪(～21日)	稲葉・山口・林 (東大)
1月22日	熊本市熊本城調査研究センター木下氏来訪・打合せ	稲葉・藤本・木下 (熊本市)
	「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
1月26日	熊本日日新聞野口氏来訪・打合せ	稲葉・野口 (熊日)
1月28日	くまもと文学・歴史館開館記念式典参加	稲葉
1月29日	「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
2月3日	スタッフミーティング	センタースタッフ
2月4日	洗馬橋にて「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
2月6日	「ブラタモリ」(NHK) 打合せ	稲葉・三日市 (NHK 熊本)
2月8日	URA 推進室藤山氏来訪・打合せ	稲葉・藤山 (URA 推進室)
2月9日	「ブラタモリ」ロケ	稲葉・NHK スタッフ
2月16日	香川県坂出市史編纂委員唐木氏来訪・資料調査	稲葉・唐木 (坂出市)
2月19日	静岡大学にて資料調査(～21日)	稲葉
2月22日	NHK 福岡放送局宮本氏来訪(ファミリーヒストリー打合せ)	稲葉・宮本 (NHK 福岡)

日付	活動内容	担当・打合せ先等
2月23日	静岡大学今村氏来訪・打合せ	稲葉・今村 (静岡大)
2月24日	熊本市熊本城調査研究センター木下氏来訪・打合せ	稲葉・木下 (熊本市)
2月26日	熊本日日新聞編集委員本多氏来訪・打合せ	稲葉・本多 (熊日)
3月4日	南島原市にて資料調査(～5日)	稲葉・安高・松本 (南島原市)
3月9日	東京大学史料編纂所山口氏・林氏、資料調査のため来訪・打合せ(～11日)	稲葉・山口・林 (東大)
3月19日	「ブラタモリ #34熊本城～熊本城は“やりすぎ城”?～」(NHK) 放送	
3月17日	東京出張・(財)永青文庫訪問(～18日)	稲葉・後藤
3月18日	永青文庫総目録完成を永青文庫理事長に報告	稲葉・後藤・永青文庫理事長他
3月22日	福岡出張・永青文庫研究打合せ(～23日)	稲葉

2. 年間活動報告

(1) 研究活動

1) 『熊本大学寄託永青文庫資料総目録』全4冊の刊行・公表

本センターの発足以来取り組んできた熊本大学寄託永青文庫資料総目録が、ついに刊行された。代表的な国持大名家史料群の詳細目録の学界への提供は、日本史学の発展への大きな貢献となる。

本目録は、熊本大学文学部附属永青文庫研究センターが2009年から2015年まで実施した、熊本大学寄託永青文庫細川家資料（以下、永青文庫資料という）の調査事業の成果を総括した目録である。

永青文庫資料は、資料群としての規模の大きさもさることながら、内容もじつに多様である。総目録作成を遂行するには、その多様さに対応するため、センターのスタッフの専門性に即して、「歴史資料」「文学・文芸・故実芸能資料」「絵図・地図・指図資料」の各担当班に分かれて、並行して作業をすすめる必要があった。また、目録の刊行も、「歴史資料編(1)~(3)」「文学・文芸・故実芸能資料編／絵図・地図・指図編」という、資料の性格による3部・4分冊構成（「歴史資料編」で3冊、「文学・文芸・故実芸能資料編／絵図・地図・指図編」が1冊）をとることになった。

2009年、調査はまず資料一点ごとの調書の作成から開始された。この基礎調査と調書作成は、永青文庫研究センターのスタッフによる日常の作業とともに、年に10~15日間実施した資料集中調査によって行われた。

2010年からは、調書作成と並行して、調書のチェックとデータ化の作業を開始し、2014年1月までには、すべての作業を終えた。

「歴史資料編」全3分冊については、2015年3月に印刷・納品となった。

しかし、「文学・文芸・故実芸能資料編」の目録データ約9,000件については、同年3月初旬の時点で、全面的な見直しが必要なことが判明した。その作業には、9月末までの7カ月間を費やすことになった。結果、「文学・文芸・故実芸能資料編」「絵図・地図・指図編」（併せて1冊）については、2015年11月末印刷、12月4日に納品となった。

本目録は、1969年に刊行された「永青文庫細川家旧記・古文書分類目録 正篇」の成果を前提にしつつも、同目録では一括登録処理されていた歴史資料にすべて枝番号を付して一点ごとに登録し、また、資料の内容についても、その資料の概要が可能な限り把握しうる情報を掲載するようつとめた。

2015年12月16日、目録完成を報告する記者会見を熊本県庁にて行った。それ以後、熊本県内外の自治体、関連研究機関等約150箇所に送付した。

本目録の公開によって、永青文庫資料の活用・研究は、新しい段階に入ることになるであろう。

2) 初期藩政冊子史料の解析

近世初期永青文庫細川家文書の総合的解析による藩政確立過程の研究を推進するため、17世

紀前半までの冊子体の藩政史料群について、一冊ごとに内容の細目録を作成することを通じて、その全容を詳細に明らかにし、併せて近世大名領国における藩政の形成過程を解明する研究事業である（科研費基盤（B）：近世初期永青文庫細川家文書の総合的解析による藩政確立過程の研究：研究代表者稲葉継陽）。

2015年度は、9月から作業を開始し、2016年2月末の時点で、元和~寛永期（細川忠利代）の書状案約2,200点の目録を作成した。

3) 総目録データ Web 公開のための補訂作業

本年度公開した総目録は、2017年度の Web 公開を目指している。本年度1月から、そのためのデータチェック、修正作業を実施した。

4) 稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会—熊本藩政の成立・改革・展開—』

（吉川弘文館、2015年2月）書評会の開催（2015年10月31日）

本書は、永青文庫資料の分析を基盤として展開した近年の熊本藩領国地域社会論をはじめとする研究を総括的に提起したものである。久留島浩氏（国立歴史民俗博物館）、岸本覚氏（鳥取大学）を招いて、書評会を開催した。

二人の評者の報告内容については、本年報11頁以下を参照されたい。

5) 画像データと目録データの接続整理作業

今後の研究に活用するため、永青文庫研究センターが蓄積した画像データと、同センターが作成した目録データとをリンクさせる作業を実施した。2月末の時点で約12,000点の作業を完了した。

(2) 展覧会・講演会活動

1) 第31回 熊本大学附属図書館貴重資料展「細川家臣・道家家の幕藩初期と明治維新」

（2015年11月1日~3日、熊本大学附属図書館と共催）の開催

2) 第10回 永青文庫セミナー「道家家三代と天草・島原一揆」（稲葉）、「<肥後の維新>の主柱となった道家之山」（三澤）の開催（2015年11月1日、熊本大学附属図書館と共催）

熊大附属図書館には、熊本藩主細川家「永青文庫」以外にも旧臣家に伝来した文書群が保管されている。2015年に道家一義氏（大阪府）から寄贈された道家家文書もそのひとつである。細川家豊前時代に細川忠興の家臣となった道家家からは、細川忠利の小姓頭となり、天草島原一揆で活躍した道家左近、文久期に奉行となって以来熊本と京都や江戸との間を奔走し、幕末維新期の藩政の舵取り役となった道家之山らが輩出された。本展覧会は、それらの古文書によって激動期熊本の歴史を描いた。

あわせて、2)の講演会も開催した。

3) 展覧会「誓いを立てる武士たち 細川家血判起請文の世界」の開催（2015年3月21日~6月28日、永青文庫と共催）

本展覧会は、2014年度の附属図書館貴重資料展として企画されたものであるが、2015年3月から、東京・目白台の公益財団法人永青文庫にても開催された。なお、永青文庫での開催に際して、図録原稿を作成したが、2016年2月の段階でも未刊行のままである。

4) 熊本大学知のフロンティア講座「織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐる

一」(講演:稲葉、2015年10月4日、熊本大学政策創造研究教育センターと共催)

熊大政策創造教育研究センターとの共催で、永青文庫の織田信長発給文書の研究成果を市民に還元する目的で開催した。会場の熊大工学部百周年記念館には、市民・学生など約100名が来場し、講演を聞いた。

(3) その他

NHK、BS日テレなど、テレビ局の番組制作に協力し、「プラタモリ」「知恵泉」など、いくつかの番組が放送された。本年報の「年間活動記録」の欄を参照されたい。

3. 稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会』書評報告

2015年10月31日、永青文庫研究センター主催の書評会が熊本大学文法学部棟で開催された。書評対象の稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会—熊本藩政の成立・改革・展開—』(吉川弘文館、2015年2月)は、永青文庫細川家文書を駆使して、17世紀から転換期としての宝暦改革前後、さらに幕末維新时期まで、200年間以上に及ぶ熊本藩領国地域社会の展開過程を11本の論文によって追究したものである。また、本書のもととなったのは、2013年に永青文庫研究センターが主催した「シンポジウム 日本近世の領国地域社会」であった。

この書評会は本書の編者と主要な執筆者たち、とりわけ30代の研究者からなる「熊本藩研究会」諸氏の強い希望によって開催された。そしてこれも執筆者たちの意向によって、書評報告を久留島浩(国立歴史民俗博物館)、岸本覚(鳥取大学)の両氏に依頼し、ご快諾いただいた。両氏にはここに改めて感謝の意を表する次第である。

当日は、執筆者のうち稲葉継陽、今村直樹、高槻泰郎、松崎範子、小関悠一郎、今村直樹、白石烈、三澤純が参加し、安高啓明氏の司会のもと、久留島・岸本両氏の報告と、執筆者を交えた討論が行われた。ここに久留島・岸本両氏の報告記録を収録する。当日の録音を起こしたものがベースになっている。

両氏の貴重なご指摘に学びながら、研究の発展のために努力していきたいと思う。

(稲葉 継陽)

稲葉継陽・今村直樹編『日本近世の領国地域社会—熊本藩政の成立・改革・展開—』構成

序章 「領国地域社会論」の提起と本書の構成…稲葉継陽

第1部 藩政の成立・改革と領国地域社会

第1章 17世紀における藩政の成立と特質—藩政改革の歴史的前提—…稲葉継陽

第2章 熊本藩宝暦改革の歴史的位相—近代文書行政への転回点としての宝暦改革—…吉村豊雄

第3章 近世期市場経済の中の熊本藩—宝暦改革期を中心に—…高槻泰郎

特論1 城下町研究・地域運営論から「領国地域社会論」へ…松崎範子

特論2 領国地域社会の中間支配機構について…籠橋俊光

第2部 藩政改革論・領国地域社会論の展開

第1章 細川重賢明君録からみえる熊本藩政改革—明君像の形成と士民の規範化をめぐる—

…小関悠一郎

第2章 近世後期の手永会所と地域社会—領国地域行政機構論—…今村直樹

第3章 幕末肥後藩の政治活動とその背景—蒸気船購入問題を中心に—…白石 烈

特論3 熊本藩領社会を「領国地域社会論」から見つめ直す…三澤 純

終章 地域社会論と「領国地域社会」…藪田 貫

4. センター教員の年間活動

稲葉継陽

各種委員会

人吉城跡調査検討委員、佐敷城跡調査検討委員（芦北町）、宇土城跡調査検討委員、熊本市文化財保護委員、菊之城史跡調査検討委員（菊池市）、上天草市史編纂委員、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金理事

論文

- ・「熊本大学寄託「永青文庫資料」総目録の刊行について」（『総合文化誌 KUMAMOTO』12、2015年9月、pp.25-31）
- ・「永青文庫史料の世界とその可能性」（『図書館文化史研究』32、2015年9月、pp.1-18）
- ・「解説」（三宅家文書研究会編『明智一族 三宅家の史料』清文堂、2015年、pp.769-783）

研究発表

- ・「戦国期肥後の要衝 名和氏の宇土城」（第27回 熊本地名研究会シンポジウム「宇土半島の地名と風土」宇土市民会館大ホール、2015年10月18日）
- ・「16世紀日本における領域秩序の変動と近世国家」（シンポジウム「アルプスからのインターローカル・ヒストリー」甲南大学岡本キャンパス、2015年12月20日）

講演

- ・「細川幽斎と天下統一」表千家熊本青年部総会 講演会、くまもと県民交流館パレア、2015年4月29日
- ・「ポスト戦国時代 細川忠利の国づくり1」肥後の里山ギャラリー 平成27年度古文書講座、2015年7月4日
- ・「ポスト戦国時代 細川忠利の国づくり2」肥後の里山ギャラリー 平成27年度古文書講座、2015年8月29日
- ・「中世地域史研究の方法—16世紀西原村の石造物史料を例に一」熊本県文化財保護協会 第3回文化財研修会、西原村構造改造センター、2015年9月16日
- ・「織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐる—」熊本大学 知のフロンティア講座、熊本大学工学部百周年記念館、2015年10月4日
- ・「熊本の歴史と永青文庫細川家資料」第52回九州地区国立学校会計事務研修、熊本大学全学教養棟、2015年10月19日
- ・「道家家三代と天草・島原一揆—道家家の幕藩初期—」第10回熊本大学附属図書館永青文庫セミナー、熊本大学附属図書館、2015年11月1日
- ・「永青文庫細川家資料で見直す「江戸時代」」熊日まだまだ学ぶ教養講座、びぶれす熊日会館、2015年11月25日
- ・「ポスト戦国時代 細川忠利の国づくり3」肥後の里山ギャラリー 平成27年度古文書講座、2015年12月5日
- ・「ポスト戦国時代 細川忠利の国づくり4」肥後の里山ギャラリー 平成27年度古文書講座、2015年12月12日

雑誌連載

- ・「細川家文書の世界」第2～5回（『季刊永青文庫』No.90～93、2015年4月～2016年1月、計4回）
- ・「永青文庫 歴史万華鏡」(1)～(11)（『阿蘇』997～1007号、2015年5月～2016年3月、計11回）

新聞掲載

- ・「戦後70年を考える 武器使用避けた自己抑制力 江戸時代の天下泰平に学ぶ」（『熊本日日新聞』2015年8月21日朝刊）

三澤 純

各種委員会

熊本県議会史編纂委員、熊本県立図書館・近代文学館展示アドバイザー

講演

- ・「古文書を読むことの怖さと面白さ—『歴史学の可能性』とも関わらせて—」2015年度宮崎第一高校文理科出前講義、宮崎第一高校、2015年7月23日
- ・「〈肥後の維新〉の支柱となった道家之山」第10回熊本大学附属図書館永青文庫セミナー、熊本大学附属図書館、2015年11月1日
- ・「小楠の弟子たちと熊本藩明治三年改革」横井小楠展示リニューアル記念講演、熊本市立横井小楠記念館、2016年3月5日

研究発表

- ・「熊本藩明治三年改革と道家之山」（熊本史学会2015年秋季研究発表大会、熊本県婦人会館、2015年12月5日）

竹島一希

論文

- ・「『『蒙求和歌』片仮名本（第二類本）第二種本本文』（『京都大学国文学論叢』34号、2015年9月、阿尾あすか・小山順子・蔦清行・南谷静香・濱中祐子・森田貴之・山中延之と共著、pp.39-114）

研究発表

- ・「東家流古今集注釈」（熊本国語国文学会、熊本県立大学、2015年12月12日）

安高啓明

各種委員会

勝海舟記念館（旧清明文庫）展示設計業務委託に係る事業者選定委員会選定委員、勝海舟記念館（旧清明文庫）整備事業検討委員会委員、西南学院史資料センター展示小委員会委員、八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員

編著書・監修・協力

- ・『太刀洗町文化財調査報告書第59集 邪宗門一件口書帳』（宮崎克則・方圓・伊藤慎二・赤川正秀と共編、太刀洗町教育委員会、2015年）

- ・『宗門人別改帳にみる近世社会』（内島美奈子と共編、國學院大學博物館、2015年）
- ・『異国人イメージⅠ 紅毛人から阿蘭陀人』（内島美奈子と共編、國學院大學博物館、2015年）
- ・「文書館・史料館めぐり 西南学院大学博物館」（日本歴史学会編『日本歴史』第810号、2015年）
- ・『西南学院大学博物館春季特別展 NEXUS』（西南学院大学博物館、2015年）
- ・『東西交流の軌跡－有馬とヨーロッパの出会い』（南島原市・西南学院大学博物館、2015年）

論文

- ・「公事方御定書の受容と運用」（日本歴史学会編『日本歴史』第809号、2015年）
- ・「絵踏の展開と踏絵の図像－貸借にみる踏絵観－」（『西南学院大学博物館紀要』第4号、2016年、内島美奈子と共著）
- ・「東北におけるキリスト教布教と禁教」（内島美奈子編『NEXUS展』（図録）西南学院大学博物館、2015年、収録、pp.73-76）
- ・「海外交流史のなかの南島原－日本キリスト教史に刻まれる世界遺産登録」（安高啓明監修『東西交流の軌跡－有馬とヨーロッパの出会い』（図録）南島原市・西南学院大学博物館、2015年、収録、pp.28-30）

講演

- ・「大学博物館活動と実践教育」西南学院大学博物館ミュージアムセッションⅡ、西南学院大学博物館、2015年7月5日
- ・「地域博物館と大学博物館」福岡県博物館協議会総会特別講演会、西南学院大学コミュニティセンター、2015年7月9日
- ・「日本キリスト教史のなかの東北」西南学院大学博物館春季特別展「NEXUS展」公開講演会、東北学院大学図書館、2015年7月11日
- ・「福岡のキリスト教史」キリスト教学校教育同盟キリスト教活動担当事務職員研修会特別講演会、西南学院大学コミュニティセンター、2015年10月2日
- ・「近世長崎における盗賊組織と法規定－抜荷・盗みを事例に」社会経済史学会九州部会、熊本大学、2015年10月10日
- ・「世界遺産の登録と観光地域づくりに向けて」ものがたり観光行動学会第5回年次大会記念シンポジウム、西南学院大学コミュニティセンター、2015年10月11日
- ・「幕藩体制国家における法支配－「犯科帳」から永青文庫史料まで」熊本大学第12回21世紀文学部フォーラム、熊本大学、2015年11月14日
- ・「絵踏と宗門改」國學院大學博物館ミュージアムトーク、國學院大學博物館、2015年12月12日

永青文庫研究センター年報

第7号 (2015年度)

発行日：2016年3月31日

発行者：熊本大学文学部附属
永青文庫研究センター

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL 096-342-2304

印刷所：シモダ印刷株式会社